

第 17 期 pES club step4 大会看護学生シナリオ

平成 30 年 6 月 24 日

内科病棟看護師

藤平美可

日本心臓血圧研究振興会附属 榊原記念病院

池亀 俊美

東京北医療センター総合診療科

南郷栄秀

<http://spell.umin.jp>

あなたは海老伝巣医科大学附属病院内科病棟の 2 年目看護師です。

三九快子さん（79 歳女性）は、誤嚥性肺炎で入院しています。左半身麻痺，構音障害，嚥下障害の後遺症があり要介護 5 の状態で，訪問看護を利用しながら，夫（85 歳）とともに自宅で暮らしていました。高血圧，くも膜下出血，右視床出血の既往があります。

入院時，病棟に届いた訪問看護師からの看護情報提供書には下記の記載がありました。

【看護情報提供書】 看護問題：#1 廃用症候群，誤嚥性肺炎
元々食事は少なく，栄養ゼリーやエンシュアリキッド等をメインに少量ずつ摂取していました。来院 2 日前に好物の食パンを摂取した後から喀痰増加と酸素化低下を認めて救急搬送となりました。

入院後は，絶飲食にして抗菌薬投与を開始しました。解熱とともに意識レベルが改善したため，言語療法士の介入により嚥下訓練を開始しました。しかし嚥下反射の惹起遅延や弱化を認め，食欲もないため，経口で十分な量を摂取することは困難であると評価され，経管栄養に切り替える方針になり，胃瘻を造設しました。

家族は自宅退院を希望しています。主治医は 1 週間後の退院を予定し，退院調整看護師が訪問看護・在宅調整を開始しました。そこで，病棟看護師であるあなたに，退院に向けて主介護者の夫に経管栄養の手技を指導するよう，退院調整看護師から依頼がありました。三九さんの夫に，1 日目の退院指導を行ってください（10 分間）。

三九快子様 退院処方

ラコール NF 配合経腸用半固形剤 300g/包
1 日 3 包 朝・昼・夕；経管投与
※院内の NST（栄養サポートチーム）から加圧バッグ使用の推奨があり購入済み。

